



目標：-の記号を使って数値を表すことができる。

① 次の( )に適した言葉を入れなさい。

0℃より2℃低い温度は-2℃ ←読み方は( ) 2℃

0℃より8℃高い温度は+8℃ ←読み方は( ) 8℃

このように使われる+を( )の符号、-を( )の符号という。

② 身の回りで-の記号が使われているものを探し、たくさん見つけてみよう。

( ) 個見つけることができた！！

③ 何かを基準の0として、それより低いときに-を使います。  
(例) 0℃は( )する温度。

④ 富士山の標高は3776m、伊豆・小笠原海溝の最大深さは9780mです。  
これを符号を使って表すと、  
富士山の標高は( ) m

伊豆・小笠原海溝の最大深さは( ) m  
と表すことができる。  
この時の基準は( )である。

⑤ 次の数量を、符号を使って表しなさい。

(1) A地点から「東へ6km」の地点を+6kmとしたとき、  
「西へ4km」 ( )

(2) 「400円の利益」を+400円と表すとき、「500円の損失」  
( )

(3) 「いまから20分前」を-20分としたとき、  
「いまから30分後」 ( )

⑥ 次の( )に適した言葉を入れなさい。

+8、+17のように0より大きい数を( )という。

-6、-28のように0より小さい数を( )という。

正の整数を( )という

目標：数を種類ごとに見分けることができる。

- 7 次の数は、正の数、負の数のどちらか答えなさい。  
また、0よりどれだけ大きいか、小さいか書きなさい。

(1)  $-10$  ( ) ( )

(2)  $+1.2$  ( ) ( )

(3)  $+59$  ( ) ( )

(4)  $-\frac{2}{5}$  ( ) ( )

(5)  $-0.1$  ( ) ( )

- 8 上の(1)~(5)の数字のうち整数、自然数をそれぞれ答えなさい。

整数 ( )

自然数 ( )

- 9 整数、自然数、正の数、負の数を図を使って表しなさい。  
(考えてみよう)

(例)



( )R( )番 氏名( )

目標：正の数・負の数の大小関係を考える。

① -6から+6までの数直線を作りなさい。

② 次の( )に適した言葉を入れなさい。

数直線で、0に対応する点を( )という。

数直線の右の向きを( )という。

数直線で左の向きを( )という。

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、

その数の( )という。

③ 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) +3, +6

\_\_\_\_\_

(2) -4, -2

\_\_\_\_\_

(3) -0.5, +0.4

\_\_\_\_\_

(4)  $-\frac{2}{3}, -\frac{1}{3}$

\_\_\_\_\_

(5) +3, -2, -5

\_\_\_\_\_

(6)  $-1, -\frac{1}{2}, +0.5$

\_\_\_\_\_

④ 次の値の絶対値を答えなさい。

(1) +7

\_\_\_\_\_

(2) -9

\_\_\_\_\_

(3) +0.6

\_\_\_\_\_

(4)  $-\frac{2}{6}$

\_\_\_\_\_

⑤ 次の問題に答えなさい。

(1) 絶対値が9である数をすべて答えなさい。

\_\_\_\_\_

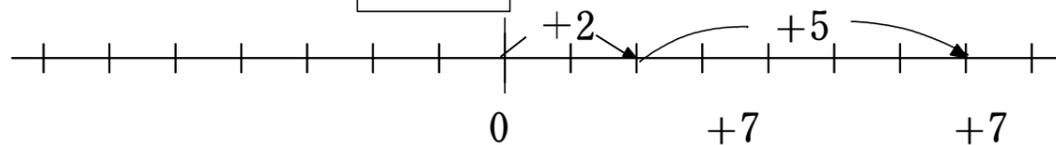
(2) 絶対値が0.7である数をすべて答えなさい。

\_\_\_\_\_

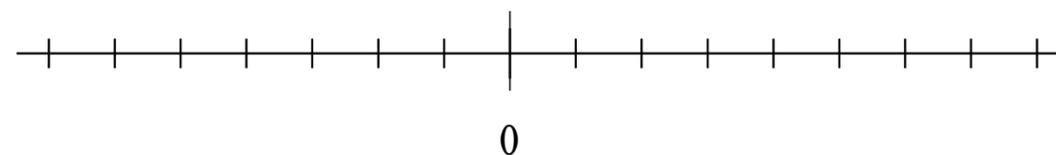


① 数直線を使って、次の計算をしなさい。

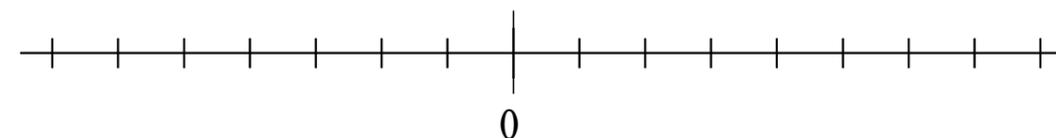
(例)  $(+2) + (+5) =$



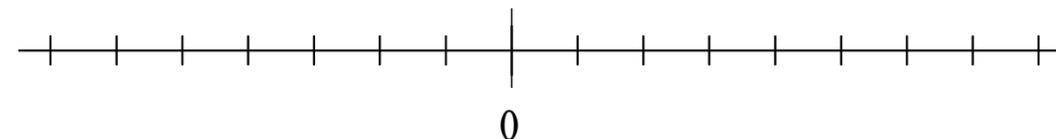
(1)  $0 + (+5)$



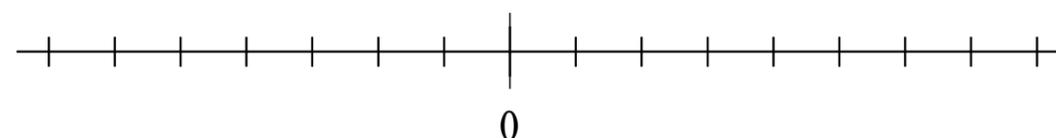
(2)  $(-1) + (-3)$



(3)  $(+7) + (-9)$



(4)  $(+5) + (-2)$



② 次の ( ) に適切な言葉を入れなさい。

数学において、たし算のことを ( ) という。

また、その結果を ( ) という。

③ 次の計算をしなさい。

(1)  $(-3) + (-4) =$

(2)  $(+16) + (-9) =$

(3)  $(-20) + (+32) =$

(4)  $(+2) + (-2) =$

④ 次の計算をしなさい。

(1)  $(+5) + (-3) =$

(2)  $(-5) + (-6) =$

(3)  $(-2) + (+6) =$

(4)  $(+9) + (-16) =$

(5)  $0 + (-43) =$

(6)  $(+4) + (-60) =$

表題

( )組( )番 名前( )

---

--	--

( ) R ( ) 番 氏名 ( )

目標：小数や分数の加法をマスターする。

① 次の( )に適した言葉を入れなさい。

正・負の数の加法 教科書p24					
同符号の2数の和	<table style="border: none;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">符号 … ( )</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">絶対値… ( )</td> </tr> </table>	{	符号 … ( )	{	絶対値… ( )
{	符号 … ( )				
{	絶対値… ( )				
異符号の2数の和	<table style="border: none;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">符号 … ( )</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;">絶対値… ( )</td> </tr> </table>	{	符号 … ( )	{	絶対値… ( )
{	符号 … ( )				
{	絶対値… ( )				
また、異符号で絶対値の等しい2数の和は、0である。					

② 上の表を意識しながら次の計算をなさい。

「同符号の2数の和」

(1)  $(+9) + (+4) =$

(2)  $(-4) + (-8) =$

「異符号の2数の和」

(3)  $(-25) + (+16) =$

(4)  $(-59) + (+59) =$

③ 次の計算をなさい。

(1)  $(-0.3) + (-1.2) =$

(2)  $(+1.4) + (-0.9) =$

(3)  $(+3.6) + (-0.6) =$

(4)  $(-5.6) + 0 =$

(5)  $(+\frac{2}{5}) + (-\frac{3}{5}) =$

(6)  $(-\frac{1}{3}) + (+\frac{3}{2}) =$

(7)  $(+\frac{1}{4}) + (-\frac{5}{6}) =$

(8)  $(-\frac{4}{7}) + (+3) =$

④ 次の( )に適した言葉を入れなさい。

正、負の加法でも次のことが成り立つ。

$a + b = b + a$  加法の( )法則

$(a + b) + c = a + (b + c)$  加法の( )法則

5 次の計算を工夫して解きなさい。

$$(1)(-18)+(+2)+(-7)+(+9)=$$

$$(2)(+19)+(-5)+(-28)+(-14)=$$

$$(3)(+1.5)+(-3.6)+(+5.6)+(+3.5)=$$

$$(4)\left(+\frac{3}{4}\right)+\left(-\frac{7}{5}\right)+\left(+\frac{1}{4}\right)+\left(+\frac{2}{5}\right)=$$

$$(5)(+21)+(-17)+(+6)+(-13)=$$

$$(6)\left(+\frac{1}{3}\right)+\left(-\frac{12}{5}\right)+\left(-\frac{4}{3}\right)+\left(+\frac{2}{5}\right)=$$



( )R( )番 氏名( )

目標：正の数・負の数の引き算を考える

1 太郎君は300万円の借金があります。あるとき「借金を600万円減らしてやる」といわれました。太郎君の手元にはいくらのお金が残っていますか？計算式もこたえなさい。

2 次の( )に適した言葉を入れなさい。

数学においてひき算のことを( )という  
また、その結果を( )という。

3 次の計算を解きなさい。また計算方法の説明をしなさい。

(1)  $(+3) - (+9) =$

説明

(2)  $(-6) - (-8) =$

説明

(3)  $(-4) - (+8) =$

説明

4 次の式と同じ式を答えなさい。

(例)  $(+1) - (+3) = (+1) + (-3)$

(1)  $(-3) - (+5) = ( ) + ( )$

(2)  $(+5) - (+9) = ( ) + ( )$

(3)  $0 - (-5) = ( ) + ( )$

(4)  $(-5) - (-5) = ( ) + ( )$

5 上の結果を言葉で表しなさい。

6

正、負の数の減法は、  
ひく数の( )を変えて( )に直せる。

7 次の減法を加法に直して計算しなさい。

(1)  $(+5) - (-6)$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(2)  $(-4) - (-6)$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(3)  $(-3) - (+1)$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(3)  $(-18) - (+39)$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(3)  $(-3) - 0$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(4)  $0 - (-6)$   
 $= ( ) + ( )$   
 $=$

(5)  $(-2.4) - (-3.7)$

$= ( ) + ( )$

$=$

(6)  $(-\frac{1}{4}) - (+\frac{2}{3})$

$= ( ) + ( )$

$=$

(7)  $(+1.7) - (-5.8)$

$= ( ) + ( )$

$=$

(8)  $(+6) - (+\frac{7}{3})$

$= ( ) + ( )$

$=$

8 次の減法を、加法に直して計算しなさい。

(1)  $(-15) - (+6) = ( ) + ( )$

$=$

(2)  $(-5) - (-6) = ( ) + ( )$

$=$

(3)  $0 - (-8) = ( ) + ( )$

$=$

(4)  $(-2.7) - (-3.4) = ( ) + ( )$

$=$

(5)  $(+\frac{1}{5}) - (-\frac{4}{5}) = ( ) + ( )$

$=$

(6)  $(-0.75) - (-\frac{4}{5}) = ( ) + ( )$

$=$



( )R( )番 氏名( )

目標：正の数・負の数の引き算を考える

① 次の ( ) に適した言葉を入れなさい。

加法の式  $(+2)+(-4)+(+6)$  で加法の記号  $+$  で結ばれた  $+2, -4, +6$  を、この式の ( ) という。また、 $+2, +6$  を ( )、 $-4$  を ( ) という。

② 次のような式を計算するにはどうすれば良いか考えよう。

$$(+2)-(-5)+(+5)-(+8)=$$

どうやって計算した？

上の式で交換法則・結合法則を使って計算できるか確かめてみよう。

③ 次の式の加法だけの式に直しなさい。

また、正の項・負の項をそれぞれ言いなさい。

(1)  $(+5)-(+6) =$

正の項 \_\_\_\_\_ 負の項 \_\_\_\_\_

(2)  $(+2)+(-6)-(-5) =$

正の項 \_\_\_\_\_ 負の項 \_\_\_\_\_

(2)  $(-3)-(+6)-(-5) =$

正の項 \_\_\_\_\_ 負の項 \_\_\_\_\_

加法の式は、加法の記号  $+$  や ( ) を省いて書ける！  
式の最初の  $+$  は省くことができる！！



加法は項だけを並べて書ける

例；  $(+6)+(-7)+(+2)$   
 $= 6 - 7 + 2$

④ 次の式を加法だけの式に直してから、かっこを省いた式に直しなさい。

(1)  $(+10)-(+21)$   
 $=$

(2)  $(-7)-(-5) =$   
 $=$

(3)  $(-1)-(-7)-(-9)$   
 $=$

(4)  $(+4)-(-5)+(+6)$   
 $=$

5 次の式を,加法の記号+とカッコを使って表しなさい。

(1)  $7-18$

=

(2)  $-16-17$

=

(3)  $-4-5+8$

=

(4)  $10+4-9-3$

=

6

項を省いた式は加法!

つまり、\_\_\_\_\_法則や\_\_\_\_\_法則が使える!!

7 次の計算をしなさい。

(1)  $11-21+33$

=

(2)  $-39+21+23+16$

=

(3)  $0.7-5.9+1.3$

=

(4)  $-\frac{5}{6}-\frac{3}{4}+\frac{3}{6}$

=



( )R( )番 氏名( )

⑦<https://www.youtube.com/watch?v=zm66O7khECA>

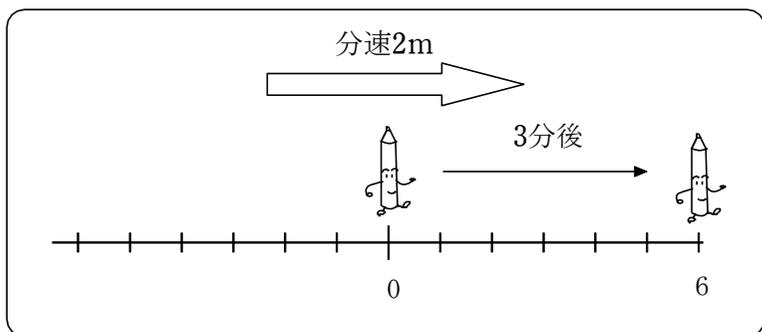
目標：いくつかの数の乗法を計算できる。

1 次の( )に適した言葉を入れなさい。

かけ算のことを( )という。その結果が( )である。

2 次の計算をしなさい。

(1)  $(+2) \times (+3) =$



(3)  $(+2) \times (-3) =$

(4)  $(-2) \times (+3) =$

(5)  $(-2) \times (-3) =$

他のやり方で説明してみよう！

前回の復習

次の[ ]に+か-を入れなさい。

(1)  $(+○) \times (+△) = [ ] □$

(2)  $(+○) \times (-△) = [ ] □$

(3)  $(-○) \times (+△) = [ ] □$

(4)  $(-○) \times (-△) = [ ] □$

3 (1) 次の計算をしなさい。

①  $(-2) \times (-2) =$

②  $(-2) \times (-2) \times (-2) =$

③  $(-2) \times (-2) \times (-2) \times (-2) =$

④  $(-2) \times (-2) \times (-2) \times (-2) \times (-2) =$

上の式で気づいたことは？

(2)(-2)を40回かけた時の積の符号が何か考えなさい。

(-2)を1031回かけた時の積の符号が何か考えなさい。

4 左のページの結果から次の ( ) を埋めなさい。

①積の符号は、 $\left( \begin{array}{l} \text{負の数が( )個あれば+} \\ \text{負の数が( )個あれば-} \end{array} \right)$  となる。

②積の絶対値は、かけ合わせる数の ( ) になる。

5 次の計算を解きなさい。

(1)  $4 \times (-3) \times 5 =$

(2)  $(-5) \times (-4) \times 2 =$

(3)  $(-3.5) \times (-2) \times 7 =$

(4)  $(-\frac{1}{3}) \times (-4) \times 3 \times (-2) =$



( )R( )番 氏名( )

目標：同じ数のかけ算の書き方や問題が解ける。

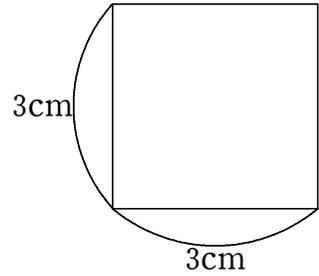
乗法は交換法則と結合法則が使える。

- 1 次の ( ) に当てはまる言葉を入れなさい。  
 同じ数をいくつかけ合わせたものを、その数の ( ) という。  
 またいくつ かけ合わせたかを示す数を、累乗の ( ) という。

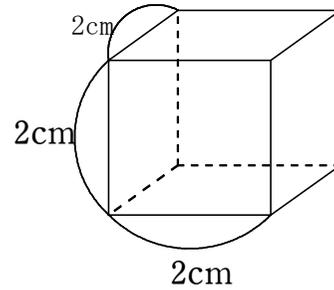
$5 \times 5 \times 5 \longrightarrow 5^3$  (読み方：5 の 3 乗) ごのさんじょう

- 2 次の正方形の面積、立方体の体積を累乗の指数を使って表し、計算しなさい。

(1)



(2)



何か気づいたことは？

- 3 次のそれぞれの累乗の計算結果がどうなるか比べてみよう。

(1)  $(-10)^4$                       (2)  $-10^2$

何が違うのかな？

- 4 答えが次の数になる累乗の式を答えなさい。

(1)  $-1000$

(2)  $-81$

(3)  $1024$

(4)  $-1$



目標：乗法の式から除法の計算式を導くことができる。

1 次の表を埋めなさい。

	名前	計算 結果
たし算	加法	和
ひき算		
かけ算		
わり算		

2 次の乗法を解きなさい。

(1)  $(-3) \times (+2) =$

(2)  $(+4) \times (-2) =$

(3)  $(-\frac{5}{3}) \times (-\frac{5}{2}) =$

3 上の式を参考に次の除法の計算をしなさい。

(1)  $(-6) \div (+2) =$

(2)  $(-8) \div (-2) =$

(3)  $(+\frac{25}{6}) \div (-\frac{5}{2}) =$

4 除法の符号についての次の表を埋めなさい。

式の符号の組	商の符号
$+$ $\div$ $+$	
$+$ $\div$ $-$	
$-$ $\div$ $+$	
$-$ $\div$ $-$	

上のような符号になるのはなぜかな？

5 次の除法はどうやって計算すればいいかな？

$(-\frac{5}{7}) \div (+\frac{2}{3}) =$

6 次の計算を解きなさい。

$$(1) 3 \div (-7) =$$

$$(2) \left(-\frac{2}{5}\right) \div 6 =$$

$$(3) \left(-\frac{5}{6}\right) \div \frac{1}{4} =$$

$$(4) \frac{2}{7} \div \left(-\frac{5}{9}\right) =$$



( )R( )番 氏名( )

目標：加法、減法、乗法、除法の混ざった式を計算できる。

1 次の計算式に間違いがあります。どこが違うか答えなさい。

また、正しい計算をなさい。

$$\begin{aligned} &25 + (-2) \times 10 \\ &= 23 \times 10 \\ &= 230 \end{aligned}$$

正しい計算をなさい

どこが違いますか？

加法・減法・乗法・除法をまとめて四則という。

四則の混じった計算では、計算の順序を考えて計算する。

加法・減法と乗法・除法では先に乗法・除法から計算する。

( ) や { } がある時はその中から計算する。

2 次の計算をなさい。

(1)  $-3 + 4 \div 2$

(2)  $(6 + 4) \div (-10)$

(3)  $(-1) \times 7 + 8$

(4)  $(7 - 19) \div 2$

(5)  $\{6 - (-3)\} \times 8$

(6)  $-5 - (-8) \div 8$

(7)  $\left(\frac{11}{6} - \frac{7}{6}\right) \times 2^3$

(8)  $\left(-\frac{7}{15}\right) \times \left\{\left(-\frac{2}{3}\right) - \left(-\frac{13}{6}\right)\right\}$

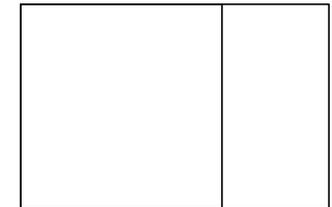
(9)  $\frac{8}{5} + \left(-\frac{1}{2}\right)^3 \times \left(-\frac{6}{5}\right)$

(10)  $-5 \div \{7 + (-2)^3\}$

分配法則とは？

$$a \times (b + c) = a \times b + a \times c$$

$$(b + c) \times a = b \times a + c \times a$$



例： $12 \times \left\{\left(-\frac{1}{2}\right) + \frac{5}{3}\right\}$

$$= 12 \times \left(-\frac{1}{2}\right) + 12 \times \frac{5}{3}$$

$$= -6 + 20$$

$$= 14$$

③ 次の計算を分配法則を使って計算しなさい。

$$(1) 10 \times \left\{ \frac{3}{2} + \left( -\frac{2}{5} \right) \right\} \quad (2) \left( -\frac{3}{10} \right) \times \frac{29}{7} + \frac{7}{10} \times \frac{29}{7}$$

$$(3) (-30) \times \left\{ \left( -\frac{1}{3} \right) + \left( -\frac{2}{10} \right) \right\} \quad (4) (-24) \times \left\{ \frac{2}{3} + \left( -\frac{5}{8} \right) \right\}$$

$$(5) 69 \times (-7.2) + 31 \times (-7.2) \quad (6) \frac{43}{10} \times \frac{16}{9} + \frac{43}{10} \times \left( -\frac{7}{9} \right)$$

$$(7) 49 \times 7 - 69 \times 7 \quad (8) \{ (-25) - 7 \} \times 4$$

★実際に行うテストは、数字等多少変更になります。わからない所があれば、質問会などに参加して、答えられるようにしましょう。

① 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

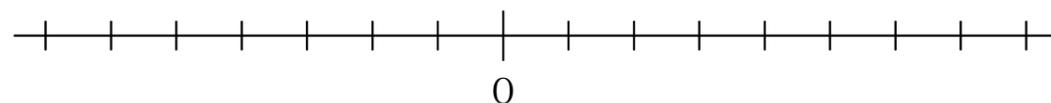
- (1) 0 よりも 6 小さい数
- (2) 0 よりも 3 大きい数
- (3) 2 6 0 円の収入を + 2 6 0 円と表すとき、1 4 0 円の支出。
- (4) 「- 5 大きい数」を「小さい数」を使って表しなさい。
- (5) 「+ 2 7 m 長い」を「短い」を使って表しなさい。

② 次の問いに答えなさい。

(1) A, B の表す点を数直線に書きなさい。

A - 4.5      B + 3

必ず黒丸と C, D を書きなさい。



- (2) - 4 より - 7 小さい数を書きなさい。
- (3) 数直線で + 3 からの距離が 8 である数を書きなさい。
- (4) - 3.4 から 5.8 の間にある自然数は、いくつありますか。

(5) 次の数の絶対値を求めなさい。

- ① + 2.8      ②  $-\frac{7}{5}$

(6) 絶対値が 2 以下の整数をすべて書きなさい。

(7) 次の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

必ず、数字と不等号の両方とも書くこと。

- ① - 1 3 , - 6
- ② - 0.5 , + 0.1 , - 0.0 9

③ 次の問いに答えなさい。

(1)  $(- 3) + (+ 5) - (- 1 3) - (+ 7)$   
この式の項を答えなさい。

(2) 次の逆数を答えなさい。

- ① - 2      ② - 0.8

4 次の問題に答えなさい。

$$-4.7, \quad +2, \quad -\frac{9}{2}, \quad -2.5, \quad \frac{10}{3}, \quad 3.2$$

- (1) 一番大きい数を答えなさい。
- (2) 小さい順に並べたときに2番目に来る数を答えなさい。
- (3) 一番小さい数と、一番大きい数の間にある整数の数を答えなさい。

5 次の問題に答えなさい。

(1)  $(-9) + (+6)$       (2)  $(-3) + (-11)$

(3)  $(+17) - (+8)$       (4)  $(-6) - (+7)$

(5)  $(+4) - (-3)$       (6)  $0 - (-13)$

(7)  $(-0.7) - (+0.4)$       (8)  $(-\frac{2}{5}) - (-\frac{3}{4})$

(9)  $-8 + 4$       (10)  $-3.4 - 0.6$

(11)  $-19 - (-13) + (-7) + 12$

6 次のを式を計算しなさい。

(1)  $(+4) \times (-7)$       (2)  $(-9) \times (-5)$

(3)  $(-\frac{9}{7}) \times (-\frac{14}{15}) \times \frac{5}{8}$

(4)  $(-19) \times (-12) + (-19) \times 112$

(5)  $3^4$       (6)  $(-7)^2$

(7)  $(-18) \div (+9)$       (8)  $(-136) \div (-17)$

(9)  $7 \times (-8) \div (-4) \times (-2)$

(10)  $16 + (-3)^2 \times (-2)^2$       (11)  $-9 + (7 - 3^2) \times 2$

(12)  $20 - \{-9 + 10 \div (-5)\}$